子どものアイデアでつくるSEE SEA PARK

～小中学生×大学生による地域交流・賑わい創出プロジェクト～



チーム名：Assi

チーム紹介

おおい町　Assi

追手門学院大学　地域創造学部　地域創造学科
地域政策コース　藤原ゼミ　２年生

メンバー：　片岡玲来　向出青杜　森本蒼空　山本匡悟
東條航太　桑田さくら　村田知優　藤雄大
中村光輝　川瀬依吹



目次

01　課題内容

02　提案内容

03　期待される効果

04　実施計画・予算

05　まとめ



01 課題内容











活動記録　：　フィールドワークの様子

2026年　8月26日（水）　8月27日（木）

:SEE SEA PARKの現状

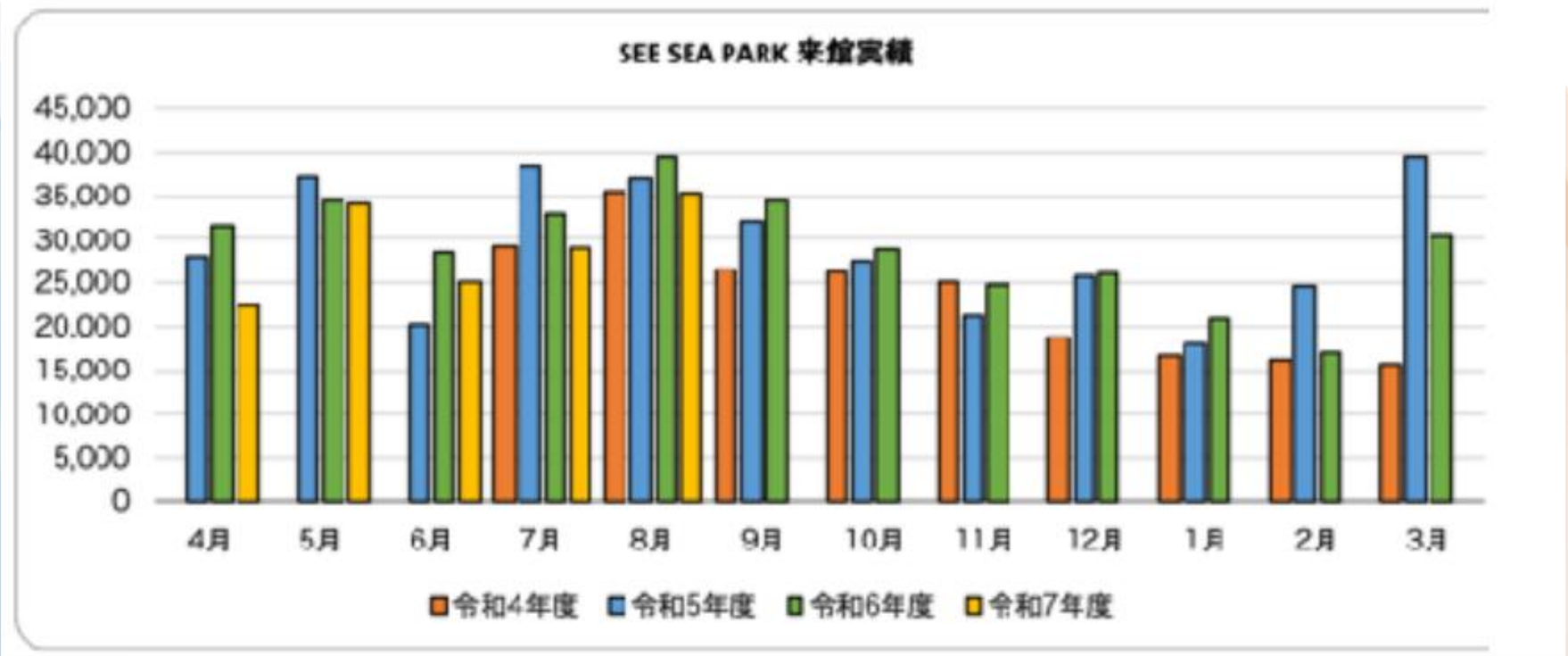


図1:SEE SEA PARK　月別来館者数

（SEE SEA PARK 出店者募集要項＜チャレンジ区画＞第6期より引用）

「SEESEAPARKでは季節によって来訪者数に偏りがあり、年間を通じた賑わいの創出が課題」

:フィールドワークから見えた課題

①どういった施設であるのかがわからない

→何をする場所なのか？町民の人でも分からない人が多いのでは

②地元の人からの来訪者数が少ない

→観光客だけでなく、町民が普段から訪れるきっかけが必要

③交流するアイテムが十分に揃っているのに
それを使っている人がいない

→芝生広場、イベントスペース、シェアオフィスなど交流できる
環境は整っている

④子供がいない（来訪者のほとんどが観光客）

→既存の施設を活用し、子どもや地域住民が集うきっかけをつくる必要がある



SEE SEA PARK オールシーズン活性化の提案に向けて

活性化するには…

ただ人が集まることが活性化に繋がらない！

↓

SEE SEA PARKを「交流の場、拠点」という
新たなイメージを持ってもらう

↓

地元の人だけでなく、地域外の人とも

繋がり、持続性のある SEE SEA PARK内でのイベント

02

提案内容


SEE SEA
PARK
OPEN 10:00-22:00
CLOSE WEDNESDAY
SEE SEA
東 AT
SEE SEA
WEST

提案名

子どもが主役！

SEE SEA PARKイベント実現プロジェクト

小・中学生の「やりたい！」を大学生と地域の力で実現する

01.提案内容

小・中学生

1.おおい町の魅力を知る

2.やってみたいイベントを考える

3. 企画・運営に参加する

大学生（私たち）

1. アイディアを引き出す

2. 実現可能な企画にまとめる

3. 地域と協力して実現させる

02.スケジュール

5月・6月

小中学生のワークショップ
月2回　土曜日　45分
SEA SEA PARKで開催
大学生がファシリテーターとなる

7月～9月

大学生によるブラッシュアップ

小中学生のアイデアを形にする

10月～3月

SEE SEA PARKでのイベント実施



03

期待される効果

地域で行うことで期待できる6つの効果

1 子どもたちの地域への愛着が深まる

自分たちのアイデアが形になり、地域を身近に感じる。

2 子どもの声を地域づくりに反映

子どもならではの視点や発想を、実際の活動に生かす。

3 世代を超えた交流が生まれる

子ども・大人・施設関係者が協力し、新たなつながりをつくる。

4 SEE SEA PARKの魅力を再発見

子どものニーズから、新しい施設の使い方を考える。

5 地域の主体性と実行力が育つ

企画から実施まで取り組み、自分たちで動く経験を重ねる。

6 地域の魅力を次世代につなぐ

地域への誇りを育て、将来の担い手づくりにつなげる。

子ども・施設・地域がつながり、活動の成果が地域全体へ広がる。

04

実施計画・予算

<材料費の詳しい概要>

運営体制と年間予算

持続可能な資金計画で、
安定した運営を実現

材料費

活動に必要な資材・備品・広報物などに使用する費用の内訳です。

合計 64,200円

① 広報用のチラシ
5,000円



地域の学校や施設、イベントなどで配布し、活動の認知度を高めます。

② IDカードホルダー
2,500円（まとめ買い50人分）



参加者やスタッフの識別用として使用します。

③ 広報看板
30,000円



活動場所やイベント会場で設置し、通りかかる方にも活動を伝えます。

④ 広報予備費
10,000円



チラシの追加印刷や急な広報対応など、予備として確保します。

⑤ 提案用の紙（コピー用紙まとめ買い）
2,700円



活動で使用する提案資料やワークシートの印刷に使用します。

⑥ 色鉛筆
4,000円



子どもたちの工作やワークショップで使用します。

⑦ 作業予備費
10,000円



材料費の追加購入や、想定外の作業に対応するための予備費です。

材料費の内訳（合計 64,200円）



<保険費・広告費の概要>


OOI TOWN
SEE SEA PARK
つながる、ひろがる、
この町の未来。
高大連携プロジェクト
～おおい町SEE SEA PARKでつくる、地域と学生の新しいカタチ～
保険費
Insurance
ボランティア活動に参加する40人分の
保険料として、1人あたり350円の
ボランティア保険に加入する。
ボランティア保険
350円 × 40人 =
合計 14,000円
家にして
活動できる
環境を整えます。
広告費
Promotion
活動の認知度を高め、より多くの人に参加してもらうことを
目的として、年間約70,000円の予算を想定する。
年間広告・広報費
約 70,000円
ローカルテレビの活用
地域のテレビ番組や
情報コーナーで活動を紹介し、
幅広い世代に認知してもらう。
InstagramやTikTokなど
活動風景、活動内容やイベント
情報を定期的に発信する。
広告宣伝費
SNS広告などを活用し、
地域住民と若年層に向けて
情報を届ける。
OOI TOWN × SEE SEA PARK × 高大連携プロジェクト
ここで過ごし、
新しい自分、地域の未来。
高大連携プロジェクト × おおい町 SEE SEA PARK

＜年間予算
まとめ＞

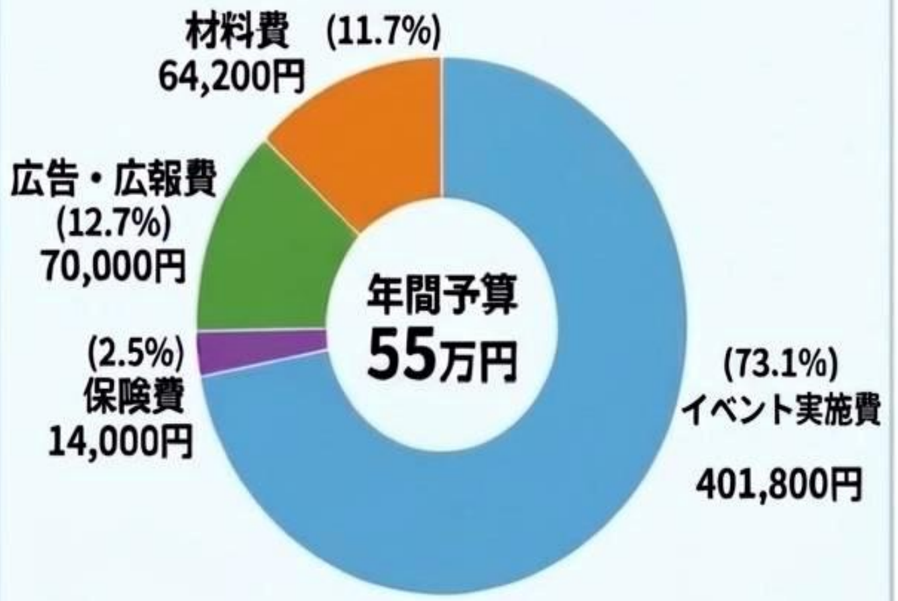
OOI TOWN
SEE SEA PARK

つながる、この町のくらすために

地域の未来を一緒につくるために

年間予算

合計 550,000円　**55万円**



**持続可能な資金計画で、
安定した運営を実現します。**

	合額(Y円)	%
材料費	64,200円	11.7%
広告・広報費	70,000円	12.7%
保険費	14,000円	2.5%
イベント実施費	401,800円	73.1%
合計	550,000円	100%

○の予算で実現したいこと

- ✓ 活動に必要な備品・資材を整え、スムーズに運営する。
- ✓ 広報活動を通じて、より多くの人に活動を知ってもらう。
- ✓ 地域とのつながりを深め、継続的な活動につなげる。

みんなの力で、地域をもっと良くする！

OOI TOWN × SEE SEA PARK × 福大連携プロジェクト



05 まとめ

想定されるご質問と今後の展望

想定質問と運用上のポイント

提案内容の実現性と役場連携

単なるアイデア出しで終わらせず、役場各部署との事前調整を行い、
実施に向けた子育て・事業化のフィードバックを得ます。

参加児童・学生の継続的確保

小中学校の探究学習との連携や部活動単位での参加、高大生への
単位認定・インターン実施により、活動人材を継続的に確保します。

安全管理体制と緊急時対応

ボランティア行事用保険への加入、救急対応マニュアルの整備、
保護者との緊急連絡ラインの構築により安全性を担保します。

今後の展望（中長期ロードマップ）

【短期】実装モデルの確立と成功体験

若狭本郷駅やSEE SEA PARKでの具体案を1つ以上実験し、子どもたちが
「自分たちの声で町が変わる」成功体験を作ります。

【中期】関係人口ネットワークの定着

関西・福井の大学生コミュニティと常時つながるプラットフォームを構築し、
移住・定住・副業人材の呼び込みへ発展させます。

【長期】他自治体への展開・モデル化

おおい町の「若者×デザイン思考×地方創生」先進事例としてマニュアル化し、
類似地域や全国の過疎地域へ広げます。